

	牧師 山本護	司式 斉藤美沙子	奏楽 山本恵美
前 奏	黙想		祈 禱
讃美歌	84 かみにたより、主にしたがえ		讃美歌 494 わが行くみち
祈 禱			献 金
信仰告白	使徒信条 566		讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書	コヘレトの言葉 3:11		黙 禱
	コリントの信徒への手紙一 15:12~16		主の祈り 564
讃美歌	320 主よ、みもとに近づかん		頌 栄 544 あまつみたみも
説 教	『この地上からの復活』		祝 禱 後 奏

「キリストは死者の中から復活した、と宣べ伝えられているのに、あなたがたの中のある者が、死者の復活などない、と言っているのはどういうわけか(1コリント 15:12)」。思索が尊ばれるギリシア世界に建てられた「コリントにある神の教会(1:2)」、信徒たちは「キリストに結ばれ、あらゆる言葉、あらゆる知識において、すべての点で豊かにされている(1:5)」。そんな中に「死者の復活などない」と公言する者がいる。教えを大筋受け入れても、自分の頭で率直に考えればそういうことも起るだろう。

かりそめにも教会の信徒のこと、土台である「キリストは死者の中から復活した(15:12)」という信仰告白は受け入れていると思う。「死者の復活などない」とは、おそらく自分たちまで「死んで甦ることはない」という意味だろう。この程度の揺らぎは、私たち現代のキリスト者の内にもうっすらあるのではないか。公言せずとも、いくらか「神の子キリストは復活しても俗なる自分は復活できないかも」という不安を抱えているのではないか。なにしろ、死者は復活しないことが世の常識だから。

この手紙は、信仰的な揺らぎに対して「否」を言い、死者の復活について力強く「然り」を言う。「死者の復活がなければキリストも復活しなかったはずだ(15:13,16)」、「キリストが復活しなかったのなら、宣教も信仰も無駄だ(15:14)」。つまり、自分たちの死とキリストの死を、分けていない。

くり返される「キリストの復活と死者の復活」の御言葉を噛みしめて、改めて感じた。キリストの死はまぎれもなく私たちの地平で起った、人間の死であることの再確認。「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのか(マルコ 15:34)」と十字架上で叫ばれるほどに、神の子イエスの死は「人間の死」であった。世の罪を贖うために人間となり、叫びながら死んだあれほどの十字架。「死者の復活などない」という主張は、地の十字架が次第に薄れて、「観念的な復活」に傾いた結果ではないか。

神の子イエスは人間として貧しい家に生まれ、漂泊するラビとして御心を現し、人間を解き放つ御心は支配の秩序と軋轢を起こし、十字架で殺された。十字架は世の罪への贖いだが、イエスの死そのものは私たちの死と少しも違わない。その「普通の死」に復活が起った。ここを動かさないでほしい。キリストの十字架が私たちの罪を滅ぼしたように、キリストの復活は私たちの死をも滅ぼされるのだ。

「キリストは死者の中から復活し、眠りについた人たちの初穂となられた(15:20)」。キリストの復活は、私たちの復活の「初穂」。私たちはこの初穂のようにやがて死に、そして復活し、「わたしたちの主イエス・キリストを通して永遠の命に導く(マテ 5:21)」。十字架を恭しく持ち上げて「観念的な復活」に傾くと、「死者(信徒)の復活などない(1コリント 15:12)」になる。とすれば、私たちの最大の関心事である「私自身の永遠の命」もなくなる。だが「死者が復活しないのなら、キリストも復活しなかったはずだ(15:16)」。言い換えれば「キリストが復活したのだから、死者(私たち)も復活する」のだ。

「神はすべてを時宜にかなうように造り、また永遠を思う心を人に与えられる。それでもなお、神のなさる業を始めから終わりまで見極めることは許されていない(コヘレト 3:11)」。いいじゃないか。むしろこれがいい。時宜にかなう神の業を人生の折々に見聞きし経験し、未知が永遠に続いて行く楽しみ。

十字架を地上から切り離して 高く掲げてはいけない 私たちが御国に近づくのではないのだから 御国がこの地上にやって来る キリストが降られたここで待て 俗なる地上のただ中から復活する

窓を開けられる季節、毎月第三主日後の礼拝堂掃除を再開します。5/15は掃除の日。礼拝後のカフェも検討中、お話しする時はマスク装着で。今日から讃美歌は着席のまま2番までうたいます。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。